

## 日米共同訓練中止とオスプレイ配備撤回にむけた運動を全国で

### 屋久島沖事故についての米軍の事故報告書について(談話)

2024年8月2日  
安保破棄中央実行委員会  
事務局長 東森英男

米軍は1日、昨年11月29日に鹿児島県の屋久島沖で発生した米空軍横田基地所属のCV-22 オスプレイの墜落事故に関する事故調査報告書を発表しました。

これを受けて防衛省が2日に発表した事故報告書の概要によれば、事故機は演習のため岩国基地を離陸し、嘉手納基地に向けて飛行中、「左側のプロップローター・ギアボックス (PRGB) が破損し、事故が発生。左側の破 PRGB 内のハイスピード・ピニオンギア1つにひびが入り、破断したギアの破片が、他のピニオンギアとサンギアの間に入り、サンギアの歯車が摩耗し、エンジンからの動力を伝達することができなくなった」としています。

また、警告灯が表示され、米軍のマニュアルでは、「実施できる範囲で速やかに着陸する」とされていたが、事故機は計画通りの飛行を継続し、屋久島空港への最終進入時、事故機が左側に2回転し、海面に墜落したとされ、防衛省は、「操縦士的意思決定も原因」などとしています。

しかし、米軍の報告書が明らかにしたことは、屋久島沖事故の根本原因は特定できず、オスプレイは「構造的欠陥」を抱えており、機体にかかわる原因でエンジンの動力がプロペラに伝わらないことが発生することを示しています。

報告されたこの経過は、オスプレイの米軍が現在、オスプレイの飛行を飛行場から30分以内の空域に限定していることもこれを裏付けています。

このようなオスプレイを、日本政府が飛ばし続けることを容認し、現在実施されている日米合同演習「レゾリュート・ドラゴン」に参加させていることは断じて認められません。

私たちは、日米合同演習へのオスプレイ参加中止とオスプレイ配備撤回を求めるとともに、全国各地での運動を強めることを呼びかけます。

以上